

# いしかわ

## 大百科



まなびの心  
かがやく人生

番組へのご意見は…

- 石川県教育委員会事務局生涯学習課  
☎ (076)225-1836
- テレビ金沢 報道制作局制作部  
☎ (076)240-3344



### 放送予定表

2020年 前期 4月～9月 手話通訳つき放送

## テレビ金沢 日曜午前 7:00～7:30

提供/石川県教育委員会 企画・制作/テレビ金沢

### シリーズ・石川わがまち代表 (全15回)

石川県には国内外に誇れるシンボリックな施設や景観、伝統文化が数多くあります。オリンピック・イヤーにちなんで石川県民が金メダルを贈りたくなるような金沢・加賀・能登それぞれの地域の宝を「わがまちの代表」ととらえ、その魅力を再発見していきます。(このシリーズは10月以降も続きます)

#### 第1回 4月19日(日)放送 家族をつなぐ～花嫁のれん～

婚礼の風習として幕末から加賀・能登・越中で受け継がれてきた「花嫁のれん」。加賀友禅の繊細で温かみのある図柄には嫁いできた人を迎える家族の思いが込められています。七尾市の「花嫁のれん館」など観光資源としても注目されている奥ゆかしい風習は、後世に伝えたい石川の伝統文化です。

#### 第2回 5月10日(日)放送 こころのうた～加賀の千代～

現在の白山市松任で生まれた俳人・加賀の千代女。1763(宝暦13)年、第11次朝鮮通信使来日の折に献上された俳句は、日本で初めて海外に伝えられた例とされています。小さきものにも目を向けた優しさに満ち溢れた俳句は、現代の私たちの心にも響き続けます。

#### 第3回 5月31日(日)放送 石川のコメ作り～白山の恵みと石川式～

5月にもなると石川県内の田んぼには、霊峰白山からの恵みとなるたっぷりの水が注がれ、米どころ石川の景観を見せます。この四角く整備された田んぼは、幕末に生まれた高田久兵衛きゅうへいによって事業が進められ、日本最初の耕地整理は「石川式」として全国のモデルにもなりました。

#### 第4回 6月21日(日)放送 進化する港～金沢港～

江戸時代には「北前船」が行き交い栄華を極めた大野・金石の港。1970年に2つの港が合併して金沢港として開港し、石川の海の玄関口としての役割を果たしてきました。そして今春、新たなシンボル「金沢港クルーズターミナル」が完成、新たな金沢港の魅力に注目が集まります。

#### 第5回 7月12日(日)放送 ジャパンクタニの素～花坂陶石～

明治時代に欧米で「ジャパンクタニ」と称賛された色絵陶磁器の最高峰となる「九谷焼」は上絵付が特徴の焼き物ですが、その磁器は小松市花坂地区で採取された「花坂陶石」があってこそ。九谷セラミック・ラボラトリー(通常:セラボ・クタニ)は製土の工程を見ることが出来る施設で、小松市が誇る「石文化」を体感できます。

#### 第6回 8月23日(日)放送 金沢発!～加賀野菜ブランド～

加賀特産の野菜は藩政時代から作られてきましたが、見た目の綺麗さや調理のし易さを求める時代風潮から生産農家が減少していきました。「加賀野菜」を受け継ぎ、後世に伝えるため、金沢市農産物ブランド協会が設立され、現在はその美味しさはもちろん、新しい食べ方や使い方なども注目を集めています。

#### 第7回 9月20日(日)放送 能登の海を行く①～穏やかな内浦～

内浦側と外浦側でまったく別の表情を見せる能登の海岸線をぐるりとめぐっていきます。穏やかな七尾湾から続く内浦は、生き物たちを育むゆりかご。九十九湾や見附島といったシンボリックな景観を訪ねながら、そこに住む人たちの営みや里海との関わりに触れていきます。

#### 第8回 10月11日(日)放送 能登の海を行く②～荒ぶる外浦～

珠洲市の先端、ろっこうさき 緑剛崎は海から陽が昇り、海に陽が沈む場所。そこから続く外浦側の仁江海岸や窓岩、能登金剛などは、内浦側とは違う日本海が作り出した荒々しい景観が特徴です。また、日本でも珍しい車が走れる千里浜海岸、白浜が美しい増穂浦、ますほがうら 鳴き砂の浜といったもうひとつの顔も持ち合わせています。

(都合により放送順序・放送時間が変わることもあります。)

県民大学校については石川県立生涯学習センターまで、お問い合わせ下さい。  
〒920-0935 金沢市石引4丁目17番1号 石川県本多の森庁舎2階  
電話(076)223-9572 FAX(076)223-9585

#### 大百科セレクション・再放送

これまで放送した『いしかわ大百科』で、視聴者から好評をいただいた回を再放送します。

#### 8月2日(日)放送 鶴仙溪そぞろ歩き

シリーズ・ふるさとを歩く④

斬新なデザインの「あやとりはし」や総ヒノキ造りの「こおろぎ橋」など特徴的な風景を見せてくれる山中温泉の鶴仙溪は、溪谷沿いをゆったりと散策できるように遊歩道が約1キロにわたって整備され、新緑や紅葉など季節ごとの美しさを見せてくれるとともに、山中節や松尾芭蕉ゆかりの地として薫り高い文化を感じさせます。(2017年6月18日放送)

